

がん化学療法指示書

登録番号 270

作成日 2021/1/13

レジメン名	ニボルマブ+イピリムマブ療法(維持療法)
診療科・対象疾患	(呼)切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
投与間隔	6週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オブジーボ	ニボルマブ	360mg/body	Day1, 22
ヤーボイ	イピリムマブ	1mg/kg	Day1

治療内容	注射	滴下順	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール											
								day1	day22	day42					
								Rp1	生理食塩液	100mL	任意	ルート確保用	●						
Rp2	癌	オブジーボ(ニボルマブ)	360mg	30分	点滴静注メイン	●													
		生理食塩液	100mL																
		総量100mLにする																	
Rp3		生理食塩液	100mL	30分	経過観察用	●													
Rp4	癌	ヤーボイ(イピリムマブ)	1mg/kg	30分	点滴静注メイン	●													
		生理食塩液	100mL																
		総量100mLにする																	
Rp5		生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用	●													
内服		滴下順	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール											
								day1	day22	day42					
								Rp1	生理食塩液	100mL	任意	ルート確保用				●			
								Rp2	癌	オブジーボ(ニボルマブ)	360mg	30分	点滴静注メイン				●		
		生理食塩液	100mL																
		総量100mLにする																	
Rp3		生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用				●										
その他必要薬剤																			
総投与時間	Day1:1時間50分、Day22:50分																		
血管外漏出リスク	オブジーボ(ニボルマブ):非壊死性抗がん剤 ヤーボイ(イピリムマブ):非壊死性抗がん剤																		
投与時の注意事項	・オブジーボ(ニボルマブ)、ヤーボイ(イピリムマブ)はフィルター付きルート要 ・オブジーボ(ニボルマブ)投与完了後、次の抗がん剤投与まで30分以上間隔をあげる。																		
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、オブジーボ(ニボルマブ)あるいはヤーボイ(イピリムマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーフ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠																		